



1873→2024

たすけあい かたりあい わかりあい しんじあい

高鷲小学校だより

令和6年度 4月号

令和6年4月8日
羽曳野市立高鷲小学校
発行：校長 小島 博之

なつかしい高鷲小学校、あたらしい高鷲小学校

4月1日着任早々なつかしい高鷲小学校をぐるっとめぐりました。3階の窓から遠く見える山並み、運動場に鎮座するセンダン、北庭のサクラの枝間でさえずる子スズメ、また3階の窓から映る東除川と青空…高鷲っ子のだれもが知る校歌1.2.3.4番を、私は全身全霊で味わっています。

4月4日には新6年生が入学式の準備に来てくれました。新しく来る小さな子たちが気持ちよく使えるよう、きれいに机を拭いて、大量の砂埃と格闘して、式場の椅子を美しく並べて、トイレのスリッパを揃えて…持ち場で一所懸命協力しながら「おしごと」している今の高鷲っ子に声をかけながら、昔、確かに同じ場所で同じ光景を見たなあと感慨にふけりました。

4月5日の入学式。天は晴れ、地のサクラは咲き、人の力のおかげで、44名の新しい高鷲っ子が仲間入りできました。式でのお話では、校歌と、1年生教室にあった新2年生のメッセージをいくつか引用させていただきました。「がっこうはとつてもたのしいところだよ」…式後には満開のサクラとまっさらのランドセルの新人生の笑顔に、いつの時代もそうあるべきだと確信しました。

さあ4月8日、高鷲っ子305人と先生たち、保護者・地域のみなさまの応援をうけ、新しい高鷲小学校を一緒につくる記念日です。よろしくお祈りします。

令和6年4月8日 15年ぶりのなつかしい高鷲小学校 校長 小島 博之



◆「たかわし」を大切に～【高鷲小学校だより】について

昨年度まで学校だよりの名称は【高小だより】でした。「たかしょう」は高鷲小学校の愛称としていろんなところで使われています。(ご近所の学校にも「たかなん」「たかきた」「たかちゅう」など愛称があります)愛称は慣れ親しまれ良いものなのですが、みんなで作る学び舎である「たかわし」の名前を大切にしたい思いから、このたび学校だよりの名称を本名の【高鷲小学校だより】とさせていただきます。また、大切に培ってきたこれまでの学校教育目標やめざす子ども像を重んじつつ、新しい高鷲小学校をみんなで作っていきたいという願いから、「たかわし」の名前にちなんだ4つの共通目標(合言葉)【たすけあい かたりあい わかりあい しんじあい】を考えて、学校だよりの標題に掲げています。あらゆる場面で合言葉を意識し、よりよい学校づくりをめざしていきましょう。

学校だよりには高鷲っ子の良いところを見つけてのせていきます。文字だけでなく写真など視覚資料も使ってお伝えするよう試みます。(画像は特定されないよう細心の注意を払います。)あわせて、見やすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントや、できるだけ大きめの文字を使います。ルビについては全面的ではなく、必要に応じてつけることとします。(今後の他の学校の手紙についても同様です。ルビが全面的に必要な場合はお知らせください。文字が小さくなりますが対応します。)

デジタルの時代ですが、学校だよりはじめ様々なお手紙は大切なコミュニケーションツールです。わかりやすい発信を心がけますので、ご一読とご理解ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

◆「たかわし」を大切に～「みんな大切な高鷲っ子 みんなで見て みんなで育てる」

上記のほかにも SC(スクールカウンセラー)、SSW(スクールソーシャルワーカー)、ALT(外国語)、支援員、給食配膳員など、たくさんの専門スタッフが高鷲小学校で高鷲っ子にかかわります。

また、小学校の学級担任のよさを生かし、学級を安心安全のベースにすることはもちろん、チームティーチング(TT)や小学校教科担任制など、学年や児童の状況に応じた指導支援を進めながら、より多くの目で高鷲っ子の学力向上や自己実現を図ります。全教職員一丸となって高鷲っ子を育ててまいりますので、保護者・地域のみなさまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。